

## 事例 DV被害者に対する 緊急一時保護事業（シェルター）

倉吉東福祉会（鳥取県） 〒682-0021 鳥取県倉吉市上井550-3 TEL 0858-26-4326

### 活動の概要

夫やパートナーの暴力から逃れてくる母子、または単身女性の緊急一時避難所として、被害者の安全を守り、心身の傷を癒しながら、当面の生活の場を提供し新しい生活を始めるためさまざまなサポートを行います。

### 法人の概要

[法人の沿革]

社会福祉法人倉吉東福祉会は昭和49年10月、大橋政治（故人）によって設立され、児童の健全育成とその時代に必要とされる地域福祉を実現することを理念として設立されました。

翌年昭和50年4月に倉吉東保育園を開設し、昭和53年4月援助を必要とする母子のため母子寮倉明園を設置し、運営を開始しました。その後、平成9年には保育園の全面改築と併せ、児童センターを合築、さらに障害児のためにデイサービスセンターを開設し、地域における児童福祉・家族福祉を視座に置きながら、有機的に連携、機能できる総合的な福祉法人としてその一翼を担っています。

- 経営施設数…4
- 法人全体の年間事業収入…231,000千円
- 主な経営施設  
保育園 120名  
母子生活支援施設 昭和53年設立 20世帯  
児童センター 平成9年設立  
障害児通所施設 平成14年設立

### 実施施設の概要

- 施設名…倉明園
- 施設種別…母子生活支援施設  
定員20世帯

### 施設の運営方針

利用母子に対し安心して生活できる環境を提供し、子育て支援、就労支援、などを提供しながら自立へのステップの場所としての役割を果たします。

### 活動の内容

- 活動対象者…夫やパートナーからの暴力被害者
- 活動の頻度…年間延べ日数 115日  
1世帯平均利用日数 23日
- 年間延利用者数…5世帯12名
- 活動開始年…平成14年

### 活動開始の背景（取り組みの経緯）

当施設では平成6年度より法人独自で緊急一時保護（突然、生活の場を失ったり、緊急に避難する必要のある母子や単身女性とその日から安心して利用できる緊急一時保護事業）を実施してきました。実施場所は倉明園内の緊急一時

## 1. 地域ニーズへの対応

### (2) 個別ニーズに対応した柔軟なサービス提供

保護室です。その中で平成6年～12年の間は年間6～9件の利用があり利用延べ日数も90日～270日と多くの利用者がありました。さらに平成13年度よりDV被害者の利用も多くなり、緊急一時保護利用者が重複することが多く、1室の緊急一時保護室では対応が難しくなり、保育室、学習室なども利用しながら事業を継続してきました（平成13年の緊急一時保護利用者は15件）。さらに利用者の入所理由のうち例年2～5件だったDV被害者が、7～9件と増加してきたため、より安全で、安心した生活を提供する必要性を感じるようになり、平成14年度より鳥取県のDV被害者支援事業の委託事業として「シェルター」として園外にアパートを1室借り上げ、DV被害者の緊急一時保護室として利用しています。

#### ■人材・資金面等での工夫、苦慮

施設外にシェルターがあり、職員は利用者が安心して生活を送ることができるよう施設～シェルター～を往復しなければなりません。利用者の危険を回避し、また、精神面の安定を図るためには同じ職員が夜間も対応できることが望ましいのですが、その支援を行うためには人員的に難しい現状です。

資金面については、施設内にもう一部屋、緊急一時保護で利用している部屋がありますが、平成6年から法人持ち出しで運営を行っている。シェルターは、県のDV被害者支援センターの一時委託事業なので資金面での持ち出しはありません。

#### ■利用者の声、地域の反応

利用者にとって心身ともに追い詰められた状態で生活を始めるので、心のケアが必要です。着の身着のまま慣れない土地での生活である

が、シェルターには生活用品が備わっているためすぐに生活が始められます。また、施設（倉明園）や関係機関に守られ、身の危険を感じることなく安全に生活することができる、今後の生活についてゆっくりと考えることができる、との感想が寄せられています。

しかし地域にはシェルターとして利用していることを公表していないため、DV被害者の入れ替わり時には不信感をもたれることもありますが、大家さんとは詳細は説明しなくとも密に連絡をとり理解を得ています。

### 活動の成果、地域の影響、今後の課題

施設外にシェルターとしてアパートを借り上げたことにより、公表されている倉明園の住所や電話番号でDV被害者を探されることがなく、安心してDV被害者が生活できるようになりました。

今後の課題は、アパートが少し遠い（車で5分）ので、もう少し近い所に借り上げ、ケアする職員の負担の軽減と、DV被害者の安心を保障していきたいと考えています。